

喝破だより 四恩の里

喝 破 五 訓

- 一、よろこんで与える人間となろう
- 一、いのちを大切に作る人間となろう
- 一、心静かに考える人間となろう
- 一、使命に生きる人間となろう
- 一、規律ある幸せ喜ぶ人間となろう

発行 公益財団法人 喝破道場 社会福祉法人 四恩の里 宗教法人 報四恩精舎 発行者 野田 大燈
住所 〒761-8004 高松市中山町1501番地9 TEL 087-882-4022 FAX 087-881-5906 一部500円
E-mail kappa@kappa.or.jp URL <http://www.kappa.or.jp> 郵便振替口座 徳島 01630-6-9731

巻頭言

時節因縁

― 二二〇〇年に前に播かれた種子 ―



― ご寄附頂きました建物 ―

遍路小屋の真向かいにある建物所有者の方から「役に立つなら老朽化してはいますが建物と土地をご寄附したい」との申し出がありました。このところ「子どもおもてなし」はとても投宿の頻度が高く、遍路人口の増加が伺えます。遍路さんは外国人も含めて老若男女様々ですので、投宿も男性のみとは限らず投宿希望の女性が訪れることもあります。

「雨に打たれたり夕刻にやっとた

どり着いたら男女いづれかが先に投宿していた場合はどうなるのだ。

その為の後から到着した女性遍路さんが、夜の遍路道を遠く離れた市内に向かつて山道を歩いているのに出会ったことがある。鍵の掛かる女性専用の小屋を作るべきだ」との申出がありました。

至極ご尤もなことですが、多くの方のご支援で平成二十六年一〇月にやっと遍路小屋が完成すると「トイレ・洗面所のない遍路小屋は如何なものか」とのお話しがあり、翌年一〇月にトイレと洗面所を完成させました。

これでお遍路さんは不便を感じないだろうと安心しておりました。

他の遍路小屋について調べてみると、網戸付の窓や入り口、そして電燈が点り充電ができる宿泊可能な小屋は少ないことがわかりました。

当遍路小屋は海抜約四〇〇メートルの山中で近隣に無料の宿泊施設はありません。

特に外人さんの遍路が増加しているだけに、必要な施設だと実感しています。

「女性専用の遍路小屋」の存在は耳にしたことがありません。

しかし遍路道の世界遺産登録を目指している状況では今後必要なお小屋となるだろう、と考えていました矢先での寄附申込みでしたので嬉しさも一入でした。

真向かいの土地建物の所有者は父の遺産を受け継いだ姉妹でしたが、既に結婚されていて、遺産の管理が難しいことから私も遍路小屋への寄進となったようです。

長らく室内を締め切っていましたので湿気のために使用に耐えないのでは？と思っていました。案に相違して室内は整理整頓されていて故人のお人柄が偲ばれました。

六月十八日に遍路シンポジウムが市内のサンポートホテルで開催され、子ども遍路小屋の代表として出席させて頂きました。

その折に、女子専用の遍路小屋ご寄附の事を発表しました。

参加者の中にnpo遍路団体の女性の方がおられ「お手伝いしますよ」とのお声掛けを頂きました。

女性遍路さんのための遍路小屋に遍路の女性団体が関わって下さればこれほど理想的なことはない、と考えてお願いを致しました。

そのグループは実際に四国遍路を徒歩で行っているのです、現実的なアドバイスやご協力を頂けると楽しみにしています。

この地は一二〇〇年前に弘法大師空海が「花蔵院」を創設された遺跡だが、大いなる力が働いて次々と遍路小屋周辺が整備されつつあるのは、私は無意識に「花蔵院」の再建を手伝わされているのだろうか。

― 大燈記 ―

自立塾（一七） ― 貴重な体験 ―

企業研修

九日から一泊二日で株式会社レクザムの新入社員規律研修を実施しました。

研修は早朝の五時起床で坐禅、法堂で読経、坐禅堂で応量器を使った朝粥に始まります。曹洞宗の禅作法に則った形式で全て勤めてもらいます。坐禅は初めての方ばかりでしたが、朝夕の坐禅で少しは無心や平常心を感じ取ってくれたことと思います。



塾生による食事の給仕

応量器を使った食事は塾生の皆が浄人（給仕）役を担います。慣れない作法での精進料理に戸惑いながら食事を進める研修生と緊張しながら給仕をする塾生、双方とも貴重な経験になったでしょう。

今年は雨による天候不良でスケジュール変更を余儀なくされました。ハーブ園での農作業は写経に、早朝の滝くだりは四国遍路八十二番札所根香寺の参拝に変更しました。根香寺参拝時に写経を各々納経しました。



和気あいあいとカレー作り

最終日の十一時から研修生の協調性と人間性が一番分かる野外炊飯です。役割分担を決めて二十五名分のカレー作りです。カレー作りは強張っていた表情から一変、皆が笑顔になります。今年はスーブカレーの様な出来栄でしたが、とても美味しくいただきました。

禅を組み、精進料理を食べ、写経や野外炊飯、法話など普段経験できない一泊二日の研修で学んだ事は多くあると思います。少しでも人生の肥やしになってもらえればと願います。

釣り体験

二十五日に梅雨の合間をぬって早朝から塾生の皆と船で釣りに出かけました。

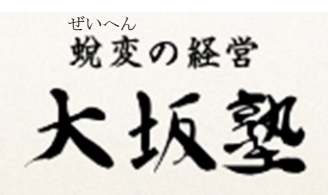
前夜に各々おにぎりをこしらえました。巨大おにぎりを3つも作ったKさんはやる気満々!? 船を出して十五分位でポイントに到着しましたが、沖合は風が強くなっていました。風が強い中で竿だし魚の当たりを待ちましたが、更に風が強まる予報でした。粘りましたが一時満足らずで撤退しました。



期待を胸に糸を垂らす

一匹も釣れなかったのは残念でしたが、船に乗って釣りをすることでも十分リフレッシュになったことでしょう。次回は天候の良い日にリベンジです！

頑張れ!! 『自立塾』
私達も応援しています。



本社オフィス
東京都江東区有明1-4-11-3217
TEL/050-5505-1006



<http://www.osaka-juku.com/>

香川オフィス
香川県高松市番町4-2-19
TEL/087-863-6888

『自立塾』
私達も応援しています！



新しい世界を楽しもう

株式会社ギフトグッズ

香川県高松市六条町1205-1

TEL 087-814-4990

FAX 087-814-4991

ハーブ園便り

蒸留体験と虫除けスプレー作り

十一日は蒸留体験と虫除けスプレー作りのイベントでした。
精油がどうやって採れるのか仕組みを知って実際ご覧になるのはとても貴重だったと思います。精油が高価な意味が分かりましたね。



精油と一緒に蒸留水も採れます。それを使って虫除けスプレーを作りました。混ぜるだけの簡単な作り方♪家でもリピートできますね。後日参加いただいた方から「効果バツグンでした!」と喜びの声をいただきました。

どんどん使っていたかと思ひます。

グミの実

グミの実が収穫を迎えました! 冬に強剪定し、枝だけになっていたので果たして実がつくのか密かに心配していました。たくさん実っています!!

グイミ、ビービー、グイグイ、ゴブなどとも呼ばれるようですが、お菓子のグミとは無関係です。

ハーブでもありません。
このまま食べられます。
酸味があるものの美味しくて、子供の頃よく食べたという方も多いのでは?(*、*、*)



収穫できるうちはサラダに添えてお出しします(*、*、*)

アロマワックスバー作り

二十五日はアロマワックスバー作りを行いました。

たくさんさんのハーブ、色々な色、様々な香り:ありすぎて迷いましたね。迷うのもまた楽しいものです。



固まる前に配置を考えて香りを決めて、作業中はハーブの自然な香りの中で癒されながら楽しく作業ができました。

香りの組合せ次第で虫除けとして使ったりクローゼットの中に入れたり、消臭目的ならトイレに飾ったりと使い分けができます。

かわいくさりげなく効果が期待できるなんて、とても素敵だと思いますか?

ぜひお家でも作って楽しんでいただきたいと思っています。

ご参加ありがとうございました! こんなイベントあったらいいなーというリクエストもお待ちしております。

★ハーブコーディネーター えり★

私達も応援しています。
『自立塾』

求人フリーペーパー **ハロータイムス**で
自分に**ぴったり**の仕事が
きっと**見つかる!**

株式会社 求人タイムス社
本社 / 観音寺市本町1541-3
TEL (0875) 25-0404
高松営業所 / 高松市林町230-6 極楽ビル1F
TEL (087) 864-6373
<http://www.kyuujin-times.net>

自分探し
ハロータイムス
Gulp!
自分探し
ハロータイムス

『自立塾』
私達も応援しております。

キッチン・バス・トイレ・増改築・ボイラー工事
四国ガスショップ・四国電力認定店
高松市上下水道工事指定工事店

(株) **広瀬** 住宅総合サービス

(本社) 高松市末広町6番地9
☎822-5478代 ☎0120-512677
(尾山店) ☎851-3167



卒塾記

「卒塾を迎えて」

振り返ってみると忘れもしない六月一日、どこに行くのかもよく分からないまま喝破道場に来ていた自分がいました。あの時の自分は、「これからどうなるのだろう。ここで何をすればいいのだろう。」と、先行きの見えない不安にかられ、また今とは違い言葉数が少なく、暗い印象だったのではないかと思います。

そんな思いで作務等を行っていた中で、少しずつではありましたが、以前の自分に戻ってきていると実感できました。それに、ここに来ることでなければ学ぶことも無かったであろうこともたくさんあります。それは、皆そうだと思いますが、坐禅、作法、自己管理など色々ですが、ここで自分にとっての一番印象深いものは、ハーブとの出会いです。ハーブに関する作業をさせていだいたり、ゼルコバでハーブのペースなどを食べたり、食事の際の香湯を頂く中でハーブが大好きになりました。特に、バジルとローズマリーは愛媛に帰っても食事等に取り入れてみたいと強く思います。

また塾長をはじめ、職員の方々、他の塾生、事務所の方々、ボランティアのみなさん全ての人の支えにより約六カ月間過ごすことが出来ま

した。

おかげ様で、現在の自分は入塾時の時とは別人と言えるのではないかと云えますし、不十分ではありますが、体重も減らす事ができ、良い意味で色々な変化があったのではないかと思います。

今後につきましては、目に見えない部分もあり不安もありますが、何年か先に改めて振り返った時に、あの時に喝破道場に来てよかったと思えるように考えて、頑張っていきたいです。

最後になりましたが、お世話になりましたとうございました。喝破道場の六カ月間、一生忘れません。

愛媛県 S・Y



音信

「大燈和尚様、大然塾長様」

五月下旬から月の改まる六月にかけてお世話になりました。ありがとうございました。お礼の手紙を書こうと思いつきながら今となりました。お伺いする前日の夕方は、県庁の建物の直線にドキドキし、翌朝はイサムノグチ庭園の加工された、まる味の石たちにワクワクしながら、それから山を登って行きました。

テレビで拝見した風景や、樽：そして大燈和尚さんが目の前にある

ことを不思議な気持ちで受け止めていました。

本当はお伺いするのにちよつと勇気がいりました。前夜に大然塾長さんが、しどろもどろに話す自分の言葉に対して、スーッと聞いてもらえて、少し軽くなったこと、今の心持ちにもつながっています。ありがとうございました。晩御飯の後、大燈和尚さんに話を聞いて頂き、まだまだ自分にもやれることがあるな！と思えた時、フツとエネルギーをもらえたように感じました。ありがとうございました。北九州に戻ってから、すぐに日常の生活が始まり、まだまだできるな！と思えたことを胸に、色んな人が関わって頂きながら、アルコール問題を抱えた彼は入院し、家を引き払う算段となりました。

ホームレス的となるので、抱僕館

(ホームレス支援機構)のスタッフにも関わってもらえるようです。病院であつたり、福祉的な社会資源の持っている良い面を強く感じる事ができました。今までになく、素直に良いあと思えました。頂いた岡田監督の色紙は、若い同僚と一緒にフットサルをしている彼にプレゼントしました。素敵な贈り物になり、彼も喝破道場に行ってみたくていいます。なんだか、上手に作文しようとしている小学生のような文章になりました。でも、それが心地良いです。カモミール摘みで日焼けした腕が自分の腕なのですが、好ましく思えます。ありがとうございました。

福岡県 N・O



誰の
ものでも
ない
独自の
花も咲かせ
よう

神様 仏様に
見てもうとほい

花をみれば
花が満ち
花をみれば
花が満ち

大阪市 山口 近香

アウルウッド物語 (十二)

安部麗子

オバケがいっぱい

いやはや大変な屁理屈ではありませんが、一部もつともだという気がするのは私だけでしょうか？

親分は、滔々と演説している自分にうっとりしています。

「お：おやぶくん。今何か聞こえませんでした？とにかく外を見てくださいよう。オバケがまだいるかどうか、確かめてくださいよう」

二人の悪者は、泣きべそをかいています。親分は、せっかくの名演説を中断されたのにプリプリ腹を立てながら、東の塔の入り口の扉を開けてみます。

と、いきなり大きな爬虫類の頭が又ツと迫ってきます。体はと見れば、いろんな動物の恨めしげな顔がついているのです。長い爪のついた三本指の手も見えます。

怪物はクワツと大きなくちを開いたかと思うと、「ぱおくん！」というものすごい声であたりの空気を震わせます。親分はもう少しで腰が抜けそうでしたが、なんとか扉を閉めることができました。

城の外では、ゴッホオッホ画伯が怪物そっくりの絵コンテを片手に、動物たちに解散の合図をしています。

千年生きた楠のおじいさんに教わった、「ブレイメンの音楽隊」をヒントにしたことは言うまでもありません。音響効果を受け持っていたのはゾウです。

しつかりとくつつきあっていたたくさんの動物たちは、素早く解散します。

西の塔にも北の塔にも南の塔にも、同じような怪物のオブジェが向き合っています。ゴッホオッホ画伯は、それぞれの見事な出来栄に、いたくご満悦です。

「な、なんだ、今のは。いや、気のせいだ。おそらくそうだ。オバケなんているものか」

「気のせいなもんですか。オイラにははっきり見えましたぜ」

「アツシもです」

ノッポとデブがガタガタ震えながら抱き合っています。

親分は首を傾げながら、西の塔の扉を開きます。そこに立っていたのは、ガリガリに痩せた顔色の悪い女です。

この女の体にも、いろんな動物の恨めしげな顔がいっぱい張り付いています。

女はちつとも動きませんでした、髪の毛だけはザワザワと蠢いています。よく見ると、髪の毛は無数の小さな蛇なのです。

「ウワーッ！」と叫んで、親分は扉を閉めます。しばらくはヒューヒューと

ヒリ辛い息を吐きながら、床にへたり込んでいましたが、恐々と自分の体に触ってみて、石になってないことを確かめます。

「放れ見る。メデューサなんているわけがなかるが」

そして、南の塔の扉を開けようか開けまいかずいぶん迷った末に、思い切って開けてみます。

途端に「ヒエーツ！」と叫びます。

そこには、一頭の立派な雄牛が立っています。牛の体にも、動物がいっぱい張り付いています。

牛は、いきなり「ンモオ〜！」と叫びます。すると、あつちからもこつちからも、「モオ〜」「モオ〜」と、おびたらしい鳴き声が応じます。それは、窓の下と言わず、屋根の上と言わず、木の間からも地の底からも聞こえてくる、何十頭もの牛の声です。立派な雄牛は、カツカツカツと後ろ足で地面を蹴り、「さあ、覚悟しろ」と言わんばかりに、ブルブルツと鼻を鳴らして身構えましたので、親分は慌てて扉を閉めます。

城の外では、動物たちがあつという間に解散し、あちこちに隠れていたウシガエルたちは、自分たちの池を目指して、一斉にピョンピョン跳ねてゆきます。

「そんなはずはないよな。そんなはずは」と、親分はブツブツ言っています。

「牛のオバケだったのかな：いや、そんなものいるわけがない」
そして、とうとう最後に残って北側の塔の扉を開けます。

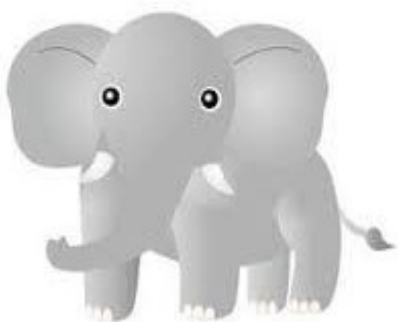
そこには、悪魔が立っていたのです。頭からすっぽりと黒い頭巾をかぶり、目だけが出ています。その目は黄色くて、縦に一本、黒い千が入っているのです。体は、真っ黒なマントに、すっぽりと包まれています。

「お：おのれ！貴様の正体を暴いてやるわい！」

親分がマントに手をかけようとした途端、マントはスルスルと天空高く翻ったのです。それは、一瞬にして、暗い空をいっそう黒く覆います。

と、思う間もなく、マントの下からは、何百羽というカラスが飛び立ちます。ギャーギャーと気味悪く鳴きながら、バタバタと飛び回ります。親分は大急ぎで扉を閉めます。

つづく



この頁は、
公開していません。

戴き物一覧

5月21日～6月20日

一 洋菓子	近 美津枝様
一 北海道札幌市	
一 アジ干物・お茶	小島 健布様
一 静岡県沼津市	
一 野菜たくさん	中田勢津子様
一 山口県宇部市	
一 和菓子・ハーブティー	崎山 陽平様
一 愛媛県松山市	
一 座布団たくさん	永田美津子様
一 宮崎県宮崎市	

ご寄付

5月21日～6月20日

北海道札幌市	近 美津枝様
函館市	興禅寺
神奈川県川崎市	近 絹子
横浜市	高村 明子
栃木県足利市	蜜蔵院
群馬県桐生市	祥雲寺
長野県下伊那郡	真浄寺
静岡県沼津市	大泉寺
愛知県名古屋市中	祇園寺
京都府京都市	岡野 恵俊
香川県丸亀市	沼田 博文
綾歌郡	西尾 清
観音寺市	様
匿名 名	様
株求人タイムス社	様
高知県高岡郡	観喜寺

平成28年度(6月20日現在)

ご寄付総額は、

二百四十一万三千八百円です。

多くの方々に心より感謝申し上げます。

野田大燈執筆書籍の紹介

いちばん大切なこと

― 禅的発想のススメ ―

野田大燈(著)

単行本 2005/6
定価 1300円+税

「幸せになりたい」

「つらい状況を脱出したい」だった

ら、ちよつとためしてみませんか?

いま再確認する「こころのルール」

第一章

しんどい時代を静かに歩くために

第二章

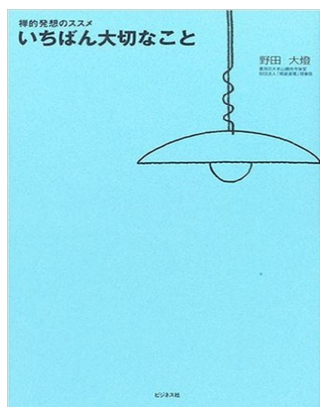
自分との「対話」

第三章

悩みを抱える人へのアドバイス

第四章

いつまでも忘れないでください



塾生募集!

塾生を募集しています。

(三ヶ月・六ヶ月コース)

「禅」を心の依り拠として

○規則正しい生活リズムの体得。

○自給自足の農作業を通して「体

力・気力・忍耐力・持続力・協

調性」を涵養。

○卒業前にはコミュニケーション

能力を高めるために付属施設

「ハーブ喫茶」で接客体験実施。

○専門家によるメンタルヘルス相

談の実施。

詳しくは電話にてお問い合わせ下さい。

(087・882・4022)

ボランティア募集!

若者の就労へ向けたがんばりを支えてください。

主な活動内容は塾生のサポートを主体とした菜園の手入れ、ハーブ園の管理、調理補助などです。

資格や経験は要りません。

一歩踏み出そうとしている若者の願

いを支えるボランティアがしたいと

思ったら、ぜひご連絡ください。

住み込みや通い、短期など様々な形

での受け入れが可能です。

詳しくは電話にてお問い合わせ下さい。

087・882・4022

「喝破道場」ご支援のお願い

平素より公益財団法人喝破道場の

活動にご理解とご支援を賜り誠に

ありがとうございます。

「禅」を心の拠り所としての活動を

展開し、更なる社会貢献を図って参

ります。

どうぞ本誌のご購読とご寄付によ

るご支援を賜りたくお願い申し上げ

ます。

購読料 年間 五、〇〇〇円

ご寄付 一口 五、〇〇〇円

(一口以上、何口でも結構です)

賛助広告掲載ご協力をお願い

平素は『自立塾』の活動にご高

配を賜り御礼申し上げます。

昭和49年に興されたカッパ禅

道場。開山の精神は、自立塾に受

け継がれています。揺るぎない思

いを胸に今後も活動してまいりま

す。一層のご支援ご協力を賜りた

くお願い申し上げます。

ページの下端一枠

(ヨコ8cm×タテ6cmほど)

年間12回 60,000円

受付 087・882・4022

